

3 実習助手の実習教諭免許（単位）取得に関する調査

全国高等学校農場協会振興局

1. 調査目的

免許取得希望者がどれだけいるのか、そして希望者が十分に単位取得の機会があるのかを把握し、十分でなければ本協会として関係各機関に働きかけをしていく資料として実施することにした。

2. 調査結果

調査の結果、362校 96.3%の学校から回答があった。

実習に携わっている職員の配置割合では、配置されている学校は93.1%であった。（図1）

また、実習に携わる職員の割合では、実習教諭が30.9%、実習助手が51.5%、期限付き等が17.6%となっており、半数以上が実習助手であった。（図2）

職員の年代別の割合は、50代が23.9%、40代が27.7%、30代が28.4%、20代19.4%、10代が0.6%となっており、40代と30代の割合が半数以上であった。（図3）

実習教諭のうち、免許取得により実習教諭になられた先生方は70.0%であった。

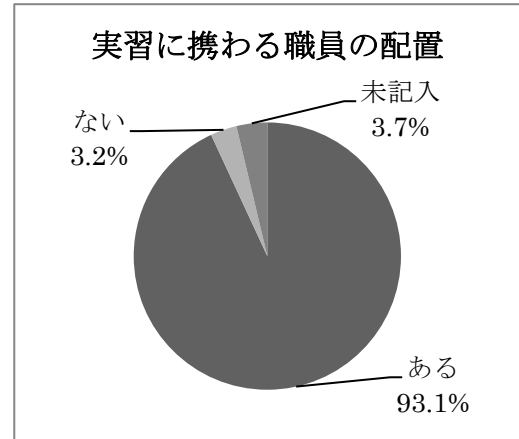


図1

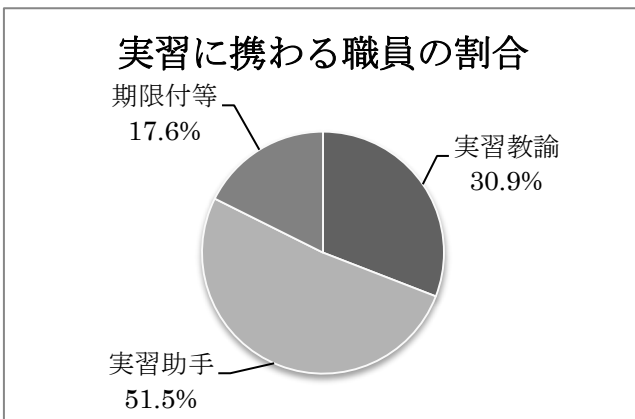


図2

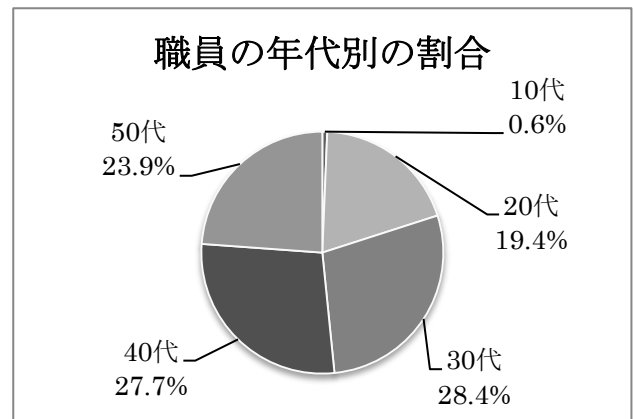


図3

講習の受講を希望している人数は547名で、実習助手の48%と約半数の先生方が希望している結果となった。（図4）

しかし、この内容の調査については65校で未記入であったため、実際の希望者はもう少し多いと思われる。

講習受講の希望状況を年代別に見ると、30代が46.6%と最も多く、次いで20代の28.2%、40代の20.8%、50代の3.8%、10代の0.5%という結果となり、20～40代で希望者が多いことがわかる。（図5）

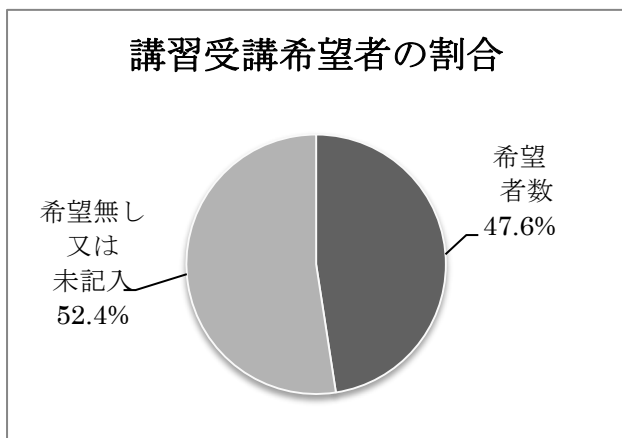


図 4

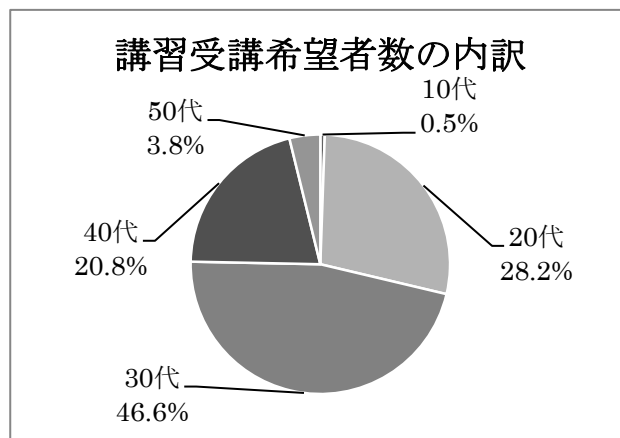


図 5

「教科に関する科目（農業科関係科目）」の単位取得の状況は、6割以上が必修単位数を取得できていない。特に2単位以下は56.6%と半数以上に上っている。（図6）

また、「職業指導に関する科目」の単位取得状況は、45.9%で必修単位数を取得しているが、こちらも半数以上の54.1%で取得できていない状況である。（図7）

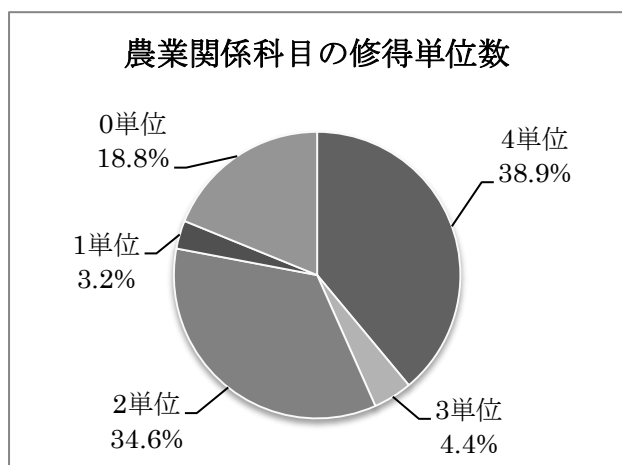


図 6

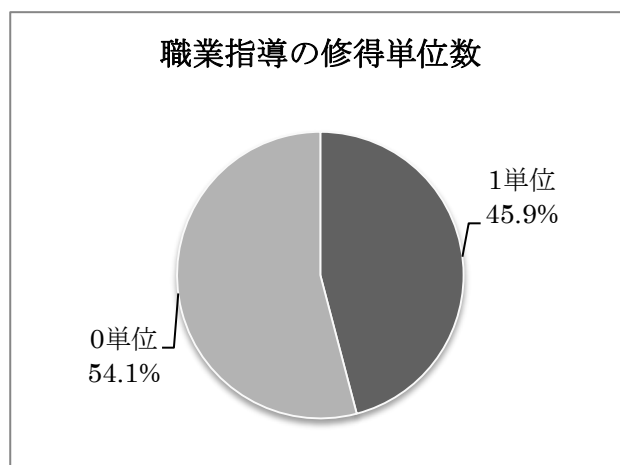


図 7

「教育の基礎理念に関する科目」の状況では、2単位以下の取得8割弱となっており、1単位取得者や未取得者の割合は27.2%と4分の1以上であった。（図8）

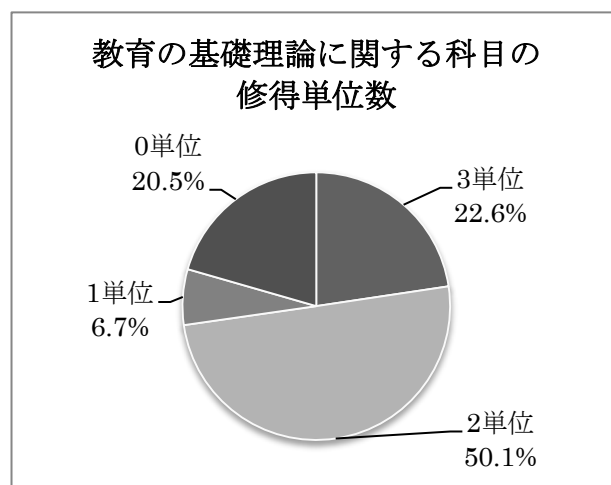


図 8

「教育課程及び指導に関する科目」並びに「生徒指導、教育相談及び進路指導に関する科目」においても同様に、2単位以下の取得者の割合は62.6%と必修単位数に達していない先生方が多い事がわかる。(図9)

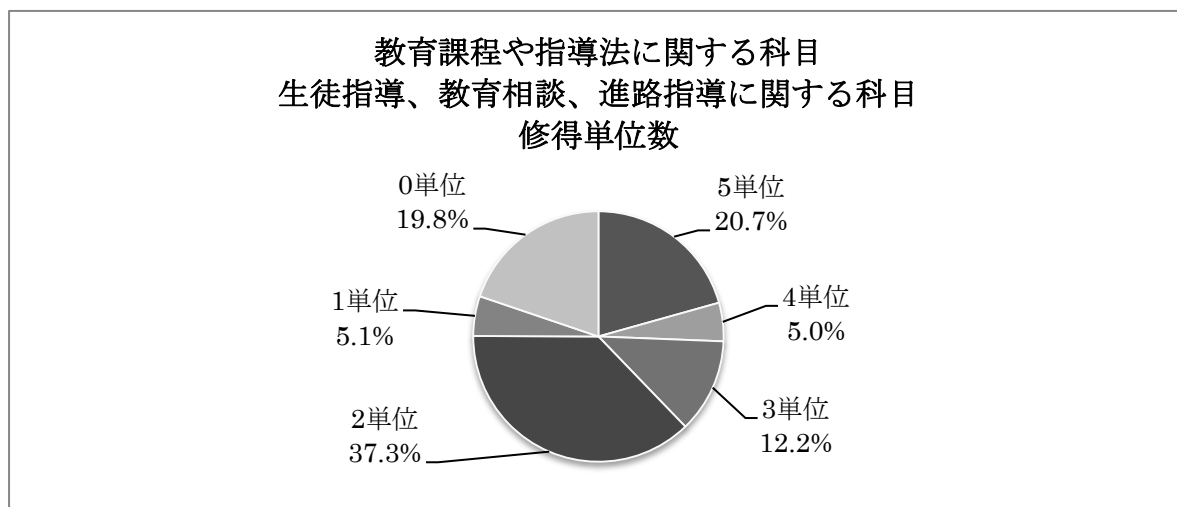


図9

3. まとめ

依然として実習助手の先生方は、取得できている単位数も必要単位数以下の状況であり、講習の受講を希望している。特に30代の先生方の希望が多かった。免許取得のための講座は限定された地域でしか開催されておらず、取得したくても厳しい状況にあると思われる。今回の結果を踏まえ、今後も関係各機関に働きかけを行っていきたい。